SDGs新聞	株式会社 明治
エクアドル共和国　カカオづくりに、必要な道具を。	

SDGsラジオを読んでみよう！

チョコレートを食べるだけ。
あなたの選択で、カカオ農家を豊かにすることができる。
食品会社の明治は2006年から、チョコレートの原料になるカカオを安定的に生産し続けるために、西アフリカや中南米、アジアにある産地を訪れて、さまざまな支援活動に取り組んでいます。
世界第3位のカカオ豆生産量を誇る中南米のエクアドル共和国では、カカオの栽培や収穫に用いる除草機や剪定機、防護服をはじめとした、農作業に必要なものを寄贈するなど、さまざまな支援を行いながら、農家さんとパートナーを組んでカカオづくりに取り組んでいます。
日々の農作業が効率的になって、高品質なカカオを育てて、そして、おいしいチョコレートをたくさんの人が食べる。農家さんがさらに豊かになっていく。
チョコレートをいっぱい食べることで、農家さんや地域がどんどん豊かになる。なんとも、おいしくて、ハッピーなお話ですね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

エクアドル共和国（以下「エクアドル」）は、南アメリカ大陸北西部に位置する、面積約26万㎢（日本の本州と九州を合わせた大きさ）、人口約1800万人の国で、北はコロンビア、南はペルーと接しています。「エクアドル」はスペイン語で「赤道」を意味し、その名の通り、首都であるキトの少し北に赤道が通っています。また、本土から西に1000kmほど離れたところにあるガラパゴス諸島もエクアドルの領土です。主な産業は、原油の輸出・農業・漁業で、農業ではバナナやカカオ、コーヒー豆などが、漁業ではエビが国の重要な収入源となっています。

剪定機・除草機の寄贈式の様子（明治公式HPより）

西アフリカや中南米、アジアにあるカカオの産地を支援するために明治は、2006年から「メイジ・カカオ・サポート」という取り組みを進めています。これは、高品質なカカオを生産し続けられるよう、カカオ農家を支援するための取り組みで、スタッフが世界各国の産地まで足を運び、現地が抱えるさまざまな課題に合わせた支援を行っています。エクアドルに向けては主に「剪定機の寄贈」を行っています。カカオの生産に剪定はとても重要で、無駄な枝や葉を切り落として日当たりと風通しを良くすることで、成長を促進したり、病虫害を抑えたりする効果があります。また、剪定機以外にも、防護服や日除け帽、除草機などの農作業に必要なものを多数寄贈しています。このように明治は、農家のみなさんが高品質なカカオをより安定的かつ効率的に生産できるよう支援を進めることで、SDGsの達成に向けて貢献しています。

キーワード

赤道

北極と南極のちょうど真ん中を通る理論上の線で、全周約4万km。緯度は常に0度。赤道より北を北半球、南を南半球といいます。

ガラパゴス諸島

19の主な島と200以上の小さな島々からなる、世界遺産登録第一号（1978年）のひとつ。独自の進化を遂げた動植物が多数生息していることで有名です。ちなみに「ガラケー」のガラは「ガラパゴス」のガラで、「孤立した（携帯電話）」という意味で用いられています。

防護服

大規模なカカオ農園での農薬散布により、農家さんに健康被害を生じさせないように身体を守るための服です。

みなさんにできること！

エクアドルが抱えている問題に目を向け、さらに理解を深め、なにができるか考えていきましょう。

おさらい

- 「ガラパゴス諸島」はエクアドルの領土。
- エクアドルではカカオの生産が盛ん。
- 剪定機・除草機などの寄贈により、高品質カカオを安定的に生産できるよう支援している。

メモ

SDGs ラジオ